

# KIITO: オンライン／オフライン2つ環境で体験する展覧会 Xhiasma Project #003 『site』

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」では、アーティストにKIITOのスペースを制作・発表の場として提供し、滞在制作を行う「KIITOアーティストサポートプログラム」を実施しています。この取り組みの一環として、次のとおり展覧会を開催しますので、ぜひご参加ください。



2020年度KIITOアーティストサポートプログラムでは、2019年度に続き、舞台、ファッション、メディアアート等のジャンルにて活躍するアーティストらによるプロジェクトXhiasma Project (キアスマプロジェクト) を迎え、インスタレーション・パフォーマンス〈site〉を開催します。

オンライン化が急速に進むコロナ時代において、美術やパフォーマンスは、従来のかたちではない表現や鑑賞の在り方が問われています。本プログラムは、Xhiasma Projectとデザイン・クリエイティブセンター神戸による新しいパフォーマンスのかたちを探る試みです。様々な場所や人が物理的な距離を越えてつながることができるオンライン環境を新たな発表の場と捉え、アーティストと鑑賞者をつなぐ新たなコミュニケーションの場となることを目指します。本作品は2つの〈site〉で展開されます。一つは特設サイト上(オンライン)、もう一つはKIITOの実際の空間にインスタレーションされた作品(オフライン)です。旧神戸生糸検査所で使われていた検査機器やプロダクトから構築した空間にいくつかのカメラを設置し、そこから24時間映し出されるリアルタイムの風景と、湯浅永麻のオランダでの日常を映した映像や2019年度のパフォーマンス作品で使用した映像などがランダムに切り替わり、時間軸を越えて観る側を魅了します。この機会に、Xhiasma Projectによる新作をぜひ会場でご覧ください。

**開催概要** 2020年度KIITOアーティストサポートプログラム Xhiasma Project #003 『site』

日時: 2020年9月19日(土)～11月23日(月・祝) 12:00～18:00 ※会期中の土日祝のみオープン 入場無料

会場: デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 北玄関

コンセプト・演出・出演: 湯浅永麻 (振付家・ダンサー) コンセプト・演出・技術: 遠藤豊 (LUFTZUG)

主催: キアスマ実行委員会、デザイン・クリエイティブセンター神戸

共催: 一般社団法人ダンス・ニッポン・アソシエイツ 制作: Dance New Air

特設サイト: <https://xhiasma.com>

※新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、展示方法の変更や入場者数を制限させていただく場合がございます。  
予めご了承ください。

#### アーティストサポートプログラム関連企画

##### 湯浅永麻ダンスワークショップ

日時：2020年10月28日（水）、29日（木）18:00～19:30

会場：2F ギャラリーC

講師：湯浅永麻（振付家・ダンサー）

参加：一般 3,500 円、U20 2,500 円 ※両日受講をご希望の際は 6,000 円

対象：10月28日（水）カウンターテクニッククラス：ダンス経験者5年以上

10月29日（木）〈site〉ムーブメントクラス：ダンス経験無し又は5年未満

申込：件名を「湯浅永麻ダンスワークショップ参加希望」とし、メール（[event@kiito.jp](mailto:event@kiito.jp)）またはHPよりお申込みください。

定員：各回12名（先着順・要予約）

#### パフォーマンス／トーク

KIITO アーティストサポートプログラム 2020「Xhiasma Project #003 〈site〉」の展示に併せて、会期中のプログラムとして、出演アーティストによるパフォーマンスとトークセッションを開催します。湯浅永麻によるダンスパフォーマンスの上演後、作品の要である技術の遠藤豊と共に、インディペンデント・キュレーターの林寿美氏をゲストにお迎えし、作品〈site〉についての制作プロセスや経緯、また、様々な展覧会や芸術祭の現場で取り組まれている〈オンライン／リアル〉という環境における新たな創作や発表、鑑賞のかたちとその可能性についてトークを行います。

日時：2020年11月1日（日）17:00～18:30

場所：1F KIITO ホール

ゲスト：林寿美（インディペンデント・キュレーター）

出演：湯浅永麻（振付家・ダンサー）、遠藤豊（テクニカルディレクター・LUFTZUG 代表）

モデレーター：芹沢高志（KIITO センター長）

参加：一般 1,500 円、神戸市内在中の方／学生 1,000 円

申込：件名を「アーティストサポートプログラム関連企画 パフォーマンス／トーク申込み」とし、メール（[event@kiito.jp](mailto:event@kiito.jp)）またはHPよりお申込みください。

定員：30名（先着順・要予約）

#### 会場作品の一部



Photo : Yutaka Endo

## プロフィール

湯浅永麻 (振付家・ダンサー)

ネザerlandダンスシアターに11年間所属後フリーとなり、マッツ・エック、サシャ・ヴァルツ、向井山朋子などの作品に出演するなど国内外で活躍。渡辺れい・小風健太と共同でOpto、シディ・ラルビ・シェルカウイ率いるEASTMANに所属。ジャンルの違うアーティスト達とのコラボレーションや、演劇への出演など活躍の場を拡げている。第13回日本ダンスフォーラム賞受賞。www.emayuasa.com



©柘植伊佐夫

遠藤豊 (LUFTZUG 代表/アートディレクター/プロデューサー/テクニカルディレクター)

舞台芸術から派生し、音楽、映像、デザイン、テクノロジーほか領域を問わず関係性を構築する。2005年有限会社『ルフトツーク』を東京に、2012年『LUFTZUG EUROPE』、2019年『Lugtje』をアムステルダムに設立。曖昧なメディアの媒介として役割を確立しようと活動を広める。人と感覚の交流、感覚の遍在化を目指し国内外で積極的に活動。CITIZEN『LIGHTisTIME』(2014年/ミラノ、東京)、建築家フランク・ゲーリー展『I Have an Idea』(2015年/東京)、向井山朋子『La Mode』(2016年/台中)、『HOME』(2016年)、『GAKA』(2018年/テルシュヘリング、高知、神津島)ほか、演出・プロダクション制作などに携わる。www.luftzug.net



## 関連イベント ゲストプロフィール

林寿美 (インディペンデント・キュレーター)

国際基督教大学教養学部卒業後、DIC 川村記念美術館に勤務。「なぜ、これがアートなの?」「ロバート・ライマン」「ゲルハルト・リヒター」「マーク・ロスコ」などの展覧会を企画。2012年に同館を退職後、ヨコハマトリエンナーレ2014、「Robert Frank: Books and Films, 1947-2017」(デザイン・クリエイティブセンター神戸)、「トラベラー まだ見ぬ地を踏むために」(国立国際美術館)、モリムラ@ミュージアム(大阪・北加賀屋)のほか、内外の展覧会やプロジェクトに携わる。2019年には神戸のアート・プロジェクト「TRANS-」のディレクターを務めた。



## Xhiasma Project (キアスマプロジェクト) について

2018年5月に開催された六本木アートナイトの企画の一つとしてスタートしたプロジェクト。振付家、ファッションデザイナー、メディアアーティスト、アート・テクニカルディレクター、脳科学者、ITジャーナリスト、企業など多岐にわたるジャンルのメンバーが参加し、対話や時間を重ねながら、作品発表に留まらず様々なアイデアを提示する新しいスタイルの芸術の在り方について模索し続けている。

プロジェクト名の「XHIASMA」とは、減数分のことを指し多ジャンルのアーティストの協働にかけている。これまでのプロジェクトに、『六本木アートナイト2018』(2018年/東京・ミッドタウン六本木)、Xhiasma Research #001(2019年/兵庫・城崎国際アートセンター)、Xhiasma Project #002『transient X』(2020年/神戸・デザイン・クリエイティブセンター神戸、2020年/東京・渋谷ファッションウィーク)がある。



©Yulia Skogoreva

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当 住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4

開館時間 | 9時~21時入館料無料 休館日 | 月曜日(祝日または振替休日の場合はその翌日) WEB | <http://kiito.jp/>